



ご存じですか？

2025年は国際協同組合理年

国連が1年を通じて、平和と安全・開発、人権/人道の問題など、ひとつの関心を喚起し、取り組みを促すために『国際年』を制定しています。その一環として、2023年の『社会開発における協同組合』会議にて、2025年を『国際協同組合理年』(2012年に続き2回目)とすることにしました。生協をはじめ、さまざまな社会的貢献の取り組みを知らせ、協同組合に対する認知を高める機会となります。

国際協同組合理年 (IYC)

International Year of Cooperatives

『協同組合はよりよい世界を築きます』

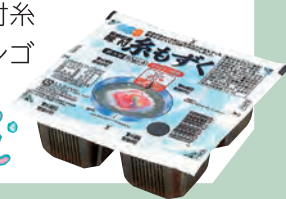


環境のこと

『恩納村もずく』環境大臣賞受賞

人間の生活と自然の共生を大きなテーマとし、恩納村の漁業資源の活用を通じて恩納村漁協のサンゴ再生事業を支援する「恩納村コープサンゴの森連絡会」が環境大臣賞を受賞しました。海の環境を守り・育てる「里海づくり」を推進する取り組みに全国33の生協と株式会社井ゲタ竹内が参加しています。

沖縄の海は「水温上昇によるサンゴの白化」など多くの問題を抱えているため、恩納村漁協では「糸もずく」が育つ里海づくりをすすめ、サンゴの植樹活動が始まりました。この取り組みにおおさかパルコープ・よどがわ市民生協が賛同し、2013年から『恩納村産味付糸もずく』1品につき1円をサンゴ基金に寄付しています。



組合員活動ニュース



2/15 吹田ウキウキコープ委員会 Let's KICKOUT!

キックボクシングやボクシングの動きを取り入れたエクササイズを行いました。準備運動後、少しずつ体を動かし、適宜水分補給を取りながら、ノリノリの音楽に合わせて楽しくエクササイズしました♪当日はかなり寒い日でしたが、終了後には参加者の皆さん汗をかきながらも、気持ちいい時間を過ごせたと喜びの声が寄せられました。



2/18 環境グループ キャンプや災害時にも役立つ 簡単クッキング

ポリ袋や缶詰を使って、チキンライスや白和え、お菓子の『じゃがりこ』でポテトサラダを作りました。簡単でボリュームもあり、普段から作って練習したらいいね!と試食。また、非常用持ち出しリュックの中身を手に取りながら、自分に必要なものは何なのかを再確認しました。

